

四之宮神社とお地蔵様

四之宮神社は下長田区の下組の皆さんの祠で、区民からは「しのみやさん」と親しみを込めて呼ばれています。その昔、男の子が少なかった長田に、男の子が生まれるようにとの願いから建てられたと伝えられており、ご神体として男女一対の神様が安置され、夫婦円満や子宝の神様としてあがめられています。お地蔵様の周りは、昔、竹の茂る坂道で、夜に人が通ると「編とっくり」がこころと転がり人々が気味悪がっていたので、お地蔵様を建て供養したそうです。今では道路も整備され、区民の安全を道路の片隅で見守っています。毎年3月1日から10日までの間に、四之宮神社とお地蔵様に感謝する祭事が催されています。



認定番号第ふるさとH24-3号 推薦者 下長田区

長田外園遺跡と狐塚遺跡

区の南西の端には、全国でも珍しい貨泉が出土した「外園遺跡」があります。昭和初期、田さげ作業中に弥生土器と一緒に1枚の貨泉が掘り出されました。昭和32年、この貨泉が注目され、東京からの調査団により発掘調査が行われました。区の北の端には「狐塚遺跡」があります。狐塚遺跡からの出土品には、高坏・壺・甕などがセットで出土しており、相当に有力な遺跡だったようです。どちらの遺跡も弥生時代の住居跡で貴重な遺跡ですが、耕地整理により再調査は不可能です。古代から現代までこの地で人々の生活が繋がっていることが確認できます。



認定番号第ふるさとH24-2号 推薦者 下長田区

人権同和教育シリーズ ⑨② 地域人権教育指導員 糸岡勇一

「男は仕事 女は家庭」なの？

平成22年の就業形態別就業状況を男女別に見てみましょう。

Table with 3 columns: 職種, 女, 男. Rows: 正社員, パートタイマー, その他.

※平成22年厚生労働省「就業形態の多様化に関する実態調査」より

女性には男性に比べ非正規社員の割合が高いことが分かります。これは、女性が家事や育児のためフルタイムよりパートタイムを選ぶことや、家計の補助的収入として、社会保険料や税金の負担を少なくして済む働き方を求めていることも考えられます。一方、企業としても現在の社会状況下においては、パート労働力、人件費の削減、雇用調整弁とみなしている側面もあります。

次に、夫婦と子ども世帯で、家事・育児に1週間どれだけの時間をかけているか見てみましょう。

Table with 3 columns: 種類, 妻, 夫. Rows: 共働き世帯, 夫が有業で妻が無業の世帯.

※平成23年総務省統計局調べ

平成3年と比較すると、夫はそれぞれ20分ほど増えていますが、妻はほとんど変化がありません。ここ数年、共働きが否かにかかわらず、夫の家事時間はわずかながら増加傾向にあります。男女差は依然として大きいものとなっています。

熊本県の平成23年における育児にかける1日の時間(25歳~34歳)は、女性が3時間35分、男性が4分となっており、おおむね横ばいとなっていますが、やはり男女間の差が大きいと言えます。

男女の性別役割分担意識は、日本の社会においては強く深く根を降ろしていると言えるでしょう。「女性は仕事を持ってほしいが、家事・育児をすべきである」という考えに「賛成」とどちらかといえば賛成」とした割合は、女性84・6%、男性88・5%と男女共に高い比率を示しています。(男女共同参画社会に関する世論調査 平成9年総理府)

仮に妻が仕事に出るにしても「家のことはしっかりやってもらわない」と夫は考えているようです。「男は仕事、女は家庭」つまり、男性は外に出て基幹労働をするもの、女性は家において家事・育児・介護に携わるもの、という意識が未だに根底にあるのではないのでしょうか。菊池市では平成22年11月、「男女共同参画都市」宣言を行いました。性別に関わりなく、男女がお互いを尊重し、理解し、支え、個人の個性・能力が発揮できる菊池市でありたいものです。

菊池夢美術館情報

問い合わせ先 菊池夢美術館 ☎0968(23)1155

菖之花色紙展

期間 5月1日(水)~5月12日(日)

道に迷ったとき、誰かの言葉で心癒されたことはありませんか。そんな言葉を色紙に書いてみました。色紙の言葉でパワーを送ります。



中津賢吾油彩展 ~菊池野の四季~

期間 5月14日(火)~5月26日(日)

花房の坂からおりた盆地の中のことを描き続けていますが、街内のことも描いてみたいと思います。



竹細工展

期間 5月28日(火)~6月16日(日)

※夢美術館で展示してみませんか?ジャンルは問いません。詳しくはお問い合わせください。

開館時間 午前9時~午後6時

※期間中の休館日はありません。

ふるさと緑の便り 菊池グリーンツーリズム

問い合わせ先 きくちふるさと水源交流館 ☎0968(27)0102

親子農業体験「おいしい村づくり」グリーンツーリズム推進施設である「きくちふるさと水源交流館」では、親子で参加する農業・自然体験を提供しています。子どもたちが体験して喜びを得ることを学ぶ「おいしい村づくり」。里山のおいしい食べ物を、自然に包まれて暮らす人々の知恵を守りながら育てることも、この取り組みの目的です。

地元のおじいちゃん、おばあちゃんへの指導を受けながら、農業から加工品づくりなども学ぶ食育プログラムを提供します。

開催期間 4月~12月 毎月1回開催(1泊2日) 次回は5月11日(土)~12日(日)

※6月は「田植え体験」

参加対象 小学校1年以上の子どもとその保護者

参加費 1人2500円(食費、宿泊費、保険料込み)

※日帰りは1人1500円



田植え



羽釜

韓国発見シリーズ ① 韓国発見シリーズ ① 韓国発見シリーズ ① 韓国発見シリーズ ①



菊池市役所 国際観光マネージャー 金 相廷さん

韓国人の危険な運転習慣

「道路は綺麗に舗装され、信号機はきちんと作動し、ドライバーのほとんどは基本的な交通ルールを守る。しかし、アメリカと比べるとかなり高い交通事故死亡率である。原因は、スピードの出しすぎ、ウインカーを出さず頻繁に行う車線変更、信号無視、大型車による乱暴運転、道路を縫うように走るバイクなどが上げられる。バイクが歩道を無遠慮に走るという事実や、発車時にドライバーが横断歩道を渡る歩行者を優先させないという点も注意しなければならぬ。地下道や歩道橋があれば、それを利用するのが安全だ。事故が起きた時は、警察署で事情聴取のために何時間も待たされるという指摘もある」。

これはアメリカ国務省のホームページで紹介する韓国の交通文化の現実である。「この情報は違う、誤った情報だ」と堂々と見える韓国人がいるだろうか。残念なことだが、そう主張できる韓国人は少ない。なぜなら今も韓国の大都市では普通に見られる光景だからだ。このサイトは海外旅行を計画

するアメリカ人のために、各国の情報を提供するのだが、日本の交通文化情報については「日本語が分からなければ表示板を読むのが困難かもしれない」とか「高速道路利用料が非常に高い」「市内交通がたびたび非常に混雑する」程度だ。ドライバーの悪い習慣に対する情報は「たまに不法駐車した車が交通を塞ぐ」が唯一あるだけだ。最後に「飲酒、スピードの出しすぎ、重大な過失による負傷事故に対して有罪になる場合、最高15年刑に処されることがある」という警告もある。

今年2月、韓国の新政府は「2017年までに経済協力開発機構(OECD)水準の道路交通安全を確保する」と発表した。なぜなら2010年基準、韓国の10万人当たりの交通事故死亡者は11・26人で、33カ国のOECD加盟国の中で最下位だったからだ。何でも「早く早く!!」を優先する韓国人の短気な気質が現われた代表的な例が交通問題ではないかと思う。これから韓国政府の努力がどのくらい実を結び

わいふ一番館だより

問い合わせ先 わいふ一番館 ☎0968(24)6630

航空写真展 SKY STREAM 井上賢一郎

期間 5月8日(水)~5月19日(日)

飛行機をさまざまな角度から捉えた写真展です。皆さんぜひご来館ください。お待ちしております。

松村洋一写真展 一月光にさそわれて

期間 5月21日(火)~6月9日(日)

今回は月光で撮影した幻想的な風景写真とホテルの写真を展開します。ぜひご覧いただければ幸いです。

平成25年度 わいふ一番館第1回企画展

村川信彦伝 展 一菊池温泉掘削物語

期間 ~7月28日(日)

昭和29年10月30日、念願の隈府温泉(現菊池温泉)は41度の土砂と共に流れ出しました。温泉掘削という菊池市における最大の事業を成し遂げた故・村川信彦さんの生き様を、その生涯と共に展示します。

※休館日:月曜日(祝日の場合は翌日)